

新会員卓話 清野 敏彦 会員

スプリングピアノリサイタル

ピアニスト 渡部麻千子さん

いつも例会でロータリーソングの伴奏や、誕生日祝いのときの生ピアノ演奏などを担当して下さっているピアニストの渡部麻千子さんに今日はメインステージでピアノリサイタルを開いていただきました。この企画を考えて、リサイタルの司会役を買って出た高田音楽委員長は、軽妙洒落なおしゃべりで場を盛り上げました。リサイタルの合間には司会者から渡部さんへの10の質問タイムがあり、メンバーが知らなかったエピソードが次々と明らかに！（その中から公開可能な質問と回答を披露します。）

Q／どんなきっかけでRCの例会伴奏をするようになったのですか？渡部さんが東RCに関わりをもったきっかけは？

A／あるコンサートのお手伝いをしているときに、星野会員の奥様から一言かけられたのがきっかけでした。

Q／今日の例会でタクトを振った高田音楽委員長のような指揮者だったら、居ない方がいいのでは？

A／指揮者は絶対に必要で、タクトを見てその指揮にあわせてピアノを弾いています。

Q／毎回同じようなロータリーソングの伴奏で飽きませんか？

A／ロータリーソングは、プロではないロータリーメンバーが作詞・作曲した曲なのに、音楽的にもとても良くできた曲で、いつも敬意をもって伴奏しています。

Q／好きな曲は？

A／藤井会員の父君の藤井会長時代に最初の例会伴奏をし、緊張する自分を励ましていただいたことが今でも良い思い出です。それまで伴奏曲については何も言わなかった藤井会長が、何気なく弾いた曲に一回だけ、「僕はこの曲が好きだ。」と言った曲が、今日のリサイタルの3曲目のリベルタンゴ／ピアソラです。



参考：1 曲目 花の歌／ランゲ 2 曲目 ノクターン No.2 / ショパン